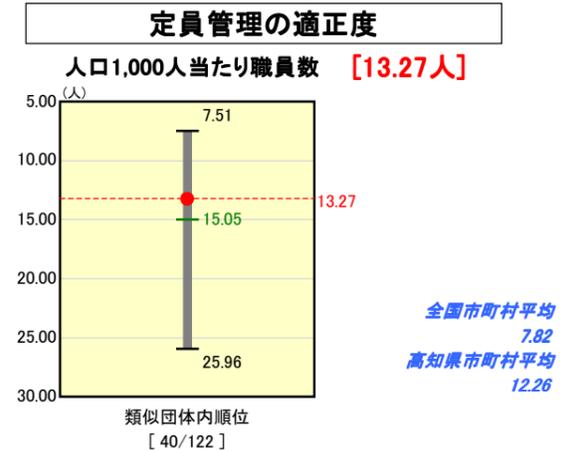
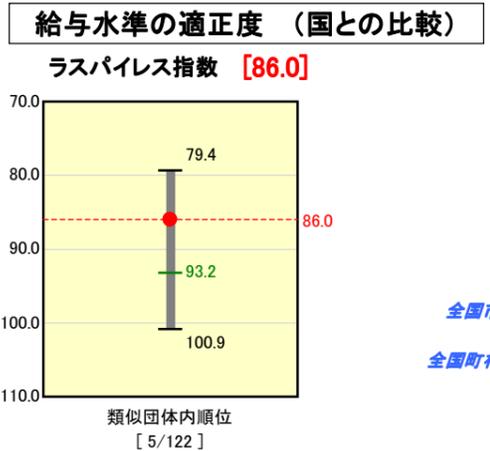
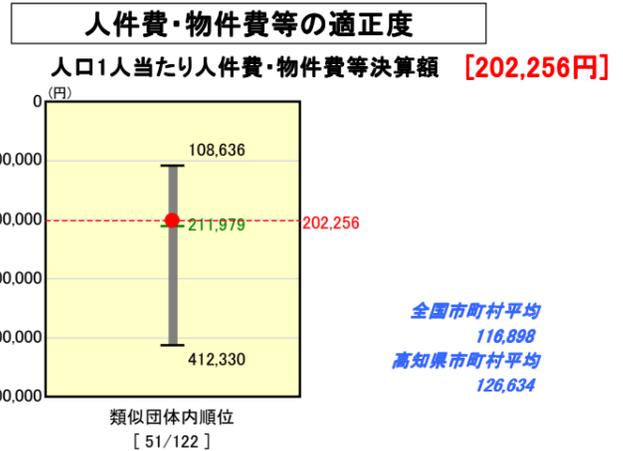
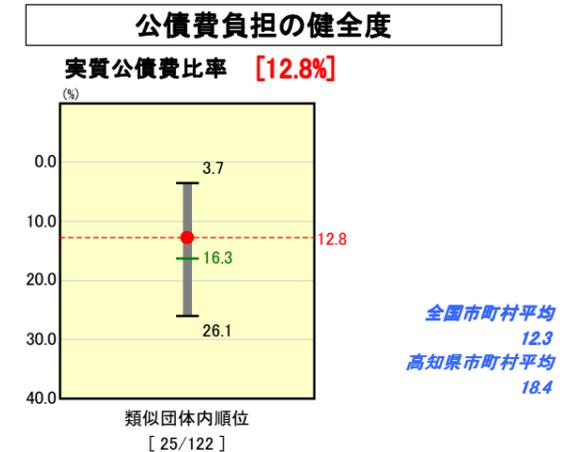
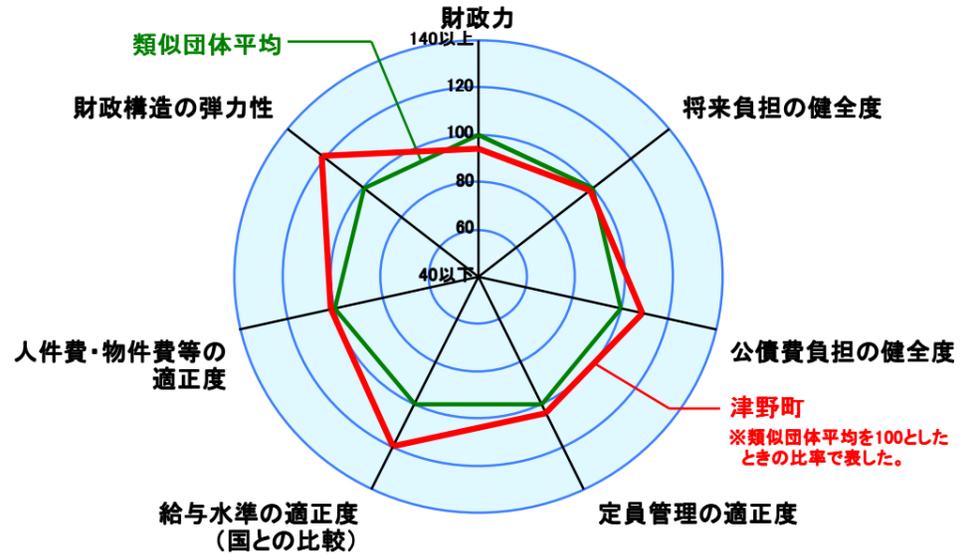
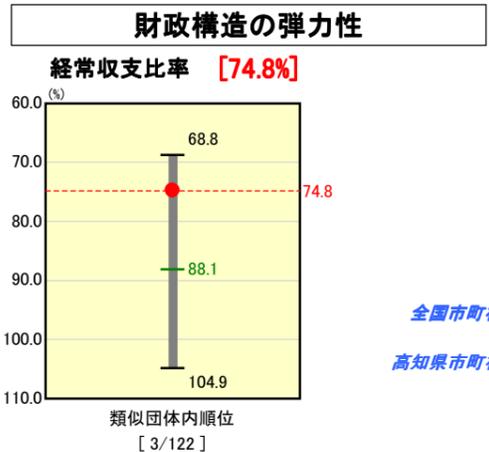
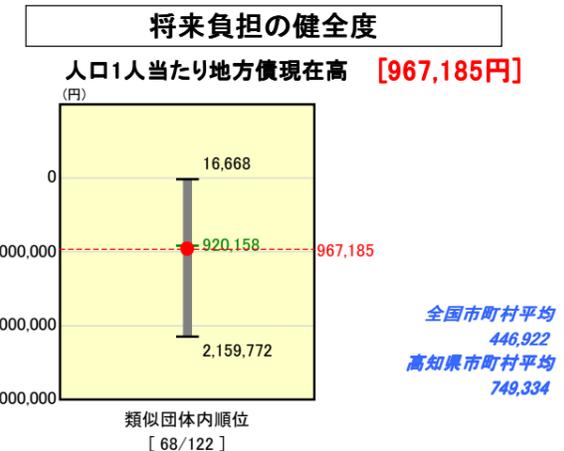
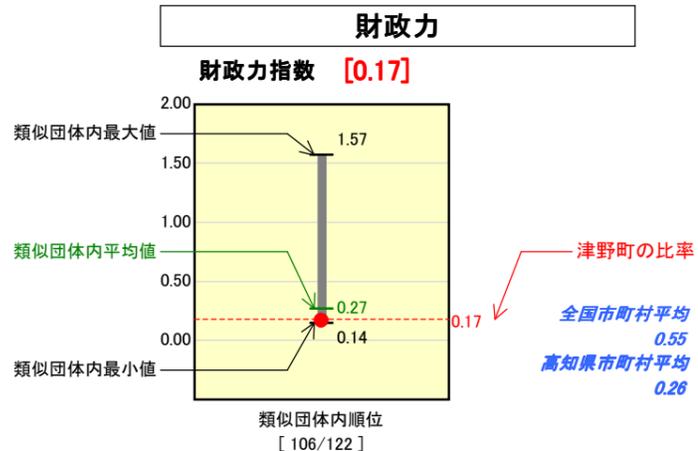


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

高知県 津野町

人口	6,935人	(H20.3.31現在)
面積	197.98	km ²
歳入総額	5,791,550	千円
歳出総額	5,686,509	千円
実質収支	102,752	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイルス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
津野町は高知県の中西部に位置し昭和35年に13,249人いた人口が平成17年度には6,862人と45年間で約半分となった典型的な過疎地域で大規模な事業所もなく自主財源の乏しい状況が続いている。このため平成17年2月1日に市町村合併をし退職者不補充、公債費の繰上償還を行い財政の健全化に努めている。

【経常収支比率】
市町村合併時の平成16年度は90.5と類似団体より若干オーバーしていたが、退職動奨及び不補充、公債費の繰上償還により平成19年度は74.8と健全エリアとされる75を下回ることができた。今後においても計画的な財政運営を行い75を超えないように努めていく。

【実質公債費比率】
市町村合併以後平成17年度から19年度にかけて約16億円の繰上償還を行い、平成17年度の16.3から平成19年度には12.8と健全エリアまで抑制することができた。今後においても計画的な地方債の発行、繰上償還により14.1以下になるよう抑制に努める。

【人口1人当たり地方債残高】
類似団体の平均より若干オーバーしているが、平成17年度から19年度に約16億円の繰上償還を行い平成16年度末に87億円あった残高が平成19年度末には約67億円となった。今後においても繰上償還、地方債発行の抑制、普通交付税算入率の高い有利な起債に厳選し財政健全化に努める。

【ラスパイルス指数】
類似団体の平均が93.2で津野町が86.0と類似団体より7.2ポイント低い状況である。今後においても給与水準の適正化を継続していく。

【人口1,000人当たり職員数】
平成17年2月1日の市町村合併以来、最小限の採用により職員数を削減した結果、類似団体より低く抑えることができた。今後においても組織機構の見直しによりさらに職員数の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体とほぼ同じとなっている。今後においても組織機構の見直しにより職員数の削減や事務の効率化に努める。